



アドナイ刊

主の山に備えあり (創世記22章)

発行 社会福祉法人 十字の園
 ケアハウス アドナイ館
 細江デイサービスセンター
 発行責任者 上野 貢一
 〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7437-8
 電話 (053) 439-1200 (代表)
 439-1212 (デイ直通)
 FAX (053) 439-1211
 郵便振替 00890-9-125741
 E-mail: hm-adonai@orion.ocn.ne.jp
 URL: http://www.jyuji.or.jp/hamamatsu_city/adonai/



アドナイ館 26年目の春

2019年4月1日



私の職場での事。今年度の理事長挨拶で「ありがとうの言える人になりました。」というお言葉がありました。

私が、今の職場に入職してすぐに掲示した「ありがとう」を書かせていただきます。生まれてから、今日まで「ありがとう」と言う言葉を使ったことのない人はいないでしょう。自分にとって、嬉しいこと、都合の良いこと、得ることがあったときには、自然に「ありがとう」と言う言葉が出てきます。人間としてごく自然な感情表現です。しかし、与えられる事柄が常になると、それが当たり前になってしまい「ありがとう」の表現を忘れてしまう事があります。感謝の心が薄くなると人の進歩・向上は止まり、生きる喜びも味わえず無味乾燥した日常になっていきます。「幸せだなあ」「ありがたいなあ」と心から思う習慣がある人は確かな幸せを実感して生活できることでしょう。人や物に対する感謝の気持ちや、思いやりの心をいつも忘れずに、笑顔を持って毎日を暮らしたいものです。与えられた人生を楽しく、感謝の気持ちを持ち、元気で心身ともに健康に過ごしたいものです。

K・K



「ケアハウスの役割」

施設長 上野 貢一

ある社会福祉法人の理事会で、監事の方がこんなことを言われた。「私の母が、施設に入居して時々面接に行くが、母が安心して生活している姿を見るとほっとする」、施設は、

ケアハウスではなく特養ホームの話だが、子の思いとは、そういうものだろう。また親の思いは、子には出来るだけ迷惑を掛けたくないということだろう。翻って施設のサービスの質と言った時、「安心」をどのように担保するかが問われてくる。

一九七二年、有吉佐和子が「恍惚の人」を発表し、翌七三年同名の映画で森繁久弥が認知症高齢者を演じた。当時の高齢化率は七％、この先益々高齢者が増加して行き、大きな社会問題となることが認識された時代だ。あれから四七年が経ち、その間社会福祉事業法が社会福祉法に変わり、介護保険制度が出来、現在、高齢化率二八・一％（二〇一八年）、六五歳以上が四人

に一人を超える。街で見かけるデイサービスの送迎車も違和感がなくなった。

ケアハウスという呼称が初めて登場したのは、一九八九年一月一日中央社会福祉審議会・老人福祉専門部会の「当面の老人ホーム等のあり方について（意見具申）」だ。介護施設とは違い住まいの位置づけを明確にする」と書かれてある。運営基準には、対象者は、「身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことが不安な者。六〇歳以上の者。その配偶者、三親等以内の親族その他特別の事情の者」とある。

アドナイ館は、一九九三年に設立され開設から二六年目を迎える。一九八二年に観た映画「黄昏」で、ヘンリー・フォンダとキャサリン・ヘプバーンが演ずる老夫婦の姿を思い出す。高齢者は、老いることを受けとめどのように暮らすのか。職員の仕事を支える取り組みが続く。



総合学習「労作」の時間、本校生徒を受け入れていただき、心から感謝申し上げます。この授業は、隣の福祉施設へお

邪魔させていただき、聖書の「隣人愛」を身をもって体験し、人としての在り方・生き方を学ぶ、本校教育の根幹となる授業です。AIやIoTによる自動化・ロボット化が進行する時代だからこそ、「隣人愛」を育む心の教育が大切です。



「利用者と職員の皆様に育てられ」

茨城久一郎
聖隷クリストファー中・高等学校 校長

紹介致します。職員からは、五月一日「丁寧」に作業して下さいました。ありがとうございました。九月六日「てきぱきと作業して下さい、次の作業を進んで提案してくださいました。」、一月二四日「楽しそうにお話しされていましたね。利用者の方も大変喜ばれていました。」生徒たちは自分の「労作ノート」に感想を書きます。

「施設の職員の方が優しく仕事も丁寧」。「利用者の方との時間が楽しい」、などです。写真は左が労作委員長白井雄介さん「自分の身近に高齢者や障害者がおられないので貴重な学びです」、右実習助手加茂勇作さん「聖隷」ならではの教育と福祉の連携、素晴らしいです。」

利用者の皆様との対話、職員の皆様の仕事ぶりや優しさに感化され、生徒も教員も「隣人愛」が育てられています。ありがとうございます。これからも変わらぬご指導をお願い申し上げます。



「理事長就任にあたり」

社会福祉法人十字の園
理事長 鈴木淳司

私は、本年二月二二日に開催されました法人理事会におきまして、前理事長平井章の後を継ぎ若輩ながら理事長という大任を仰せつかることになりました。

理事長職就任にあたり、その責務の重さを痛感しております。十字の園はその名前が示す通り、先達の方々の熱いキリスト教信仰によって始まりました。

その礎となったのは、戦後復興の助けにドイツプロテスタント教会から派遣されたディアコニッセ（奉仕女）ハニ・ウォルフ姉妹が、日本の高齢者問題を自分の使命と受け止め、祖国ドイツに帰り、教会を回り献金が集められたことによります。その浄財を基に、当法人は一九六〇（昭和三五）年五月五日に「主イエス様、あなたのご命令によりこの家を建てますから、あなたが基礎になって下さい」と記された旧新約聖書を定礎とし、その年の一月二十八日付で認可、翌一九六一（昭和三六）年

一月二〇日に、日本で最初と言われる特別養護老人ホームを開園いたしました。

その時に、ハニ・ウォルフ姉妹が言われた「私たちの法人は人間の力ではなく神様の力でやりたい」との想いを受け、以来自分たちの想いではなく、求められる形で、浜松、御殿場、伊豆、松崎、伊東とそれぞれの地に広がり、神様と人に愛をもって仕えるキリスト教精神に立って運営をまいりました。

前任の平井章は措置から介護保険制度に大きく社会保障制度が変わる中、一九九年の長きにわたり、様々な難しい局面を、持ち前の明るさとバイタリティーで乗り越えてまいりました。

後を任された私も、創立の精神を、しっかりと受け継ぎ、様々な課題を抱える日本の社会福祉の中で、時代に沿って柔軟に変化しながらも、神様と地域の方々に愛をもって仕えていきたいと思っております。

福祉情報 - その139 -

*「普通の暮らし」で重度化予防

日本生活協同組合連合会は、昨年度から、トイレでの排泄や座って食事をするなど、日常生活動作の自立に重点を置いたケアを「一〇の基本ケア」として普及に取り組んでいる。「一〇の基本ケア」は尊厳の保持、QOLの向上、在宅支援を柱に、出来るだけ自分で行える行為を増やすことでADLの維持、向上へつなぐ。外出やコミュニケーションなど社会参加や意欲向上に結び付く働きかけも含まれている。

*身元保証なしの医療提供

厚労省はこのほど、身元保証人がいない人の入院や、医療に関する意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン案を策定した。判断能力が不十分な人でも、本人には意思があり意思決定能力があることを前提に、意思・意向を尊重した対応をすることを原則にしている。医療への同意について成年後見人など第三者に権限はないと明記。本人と関係者が最善の方法について繰り返し話し合うことが必要としている。

(シルバー新報より)

たべもの - 厨房より - あれこれ

チョコレートについて ～歴史編～

現在世界中で食べられている甘いお菓子として、チョコレートは人気を博しています。

その歴史は古く、チョコレートの最も古い記録が紀元前1500年ごろの中央アメリカ、現在のメキシコ南部周辺に発見されています。その後4～9世紀ごろのマヤ文明では、貨幣や、神への捧げもの、薬、上流階級の嗜好品として利用されていました。当時はカカオの粉末にトウガラシやバニラを入れて飲むもので、今のように甘く固形のものではありませんでした。(奥)

ケアハウス

わたしの夢
わたしの楽しみ
わたしの○○

「来し方を振り返って」
入居者 牧野照子



鎌倉市 鶴岡八幡宮の境内にて

ご縁があり、この浜松の土地に暮らし始めまして六〇余年が経とうとしています。この間、看護師として働きながら家庭を支え、定年退職後は近くの障害者施設でボランティア活動をするかたわら、庭に設えた菜園で野菜作りを楽しむ日々を送ってきました。

私は大正の最後の年に神奈川県の鎌倉市で生まれました。七人兄弟の五番目。鶴岡八幡宮の

境内やそこから延びる若宮大路を遊び場に兄弟姉妹たちと暮らしていました。

父は九州で板金工房を営んでいましたが、関東大震災後の復興特需の波に乘ろうと鎌倉に居を移したと聞いております。今も実家は、観光客でにぎわう小町通りの一筋奥まった所にあり、甥夫婦が暮らしています。小町通りは、私が暮らしていました頃からは大変貌を遂げて、もう昔を懐かしむ手掛かりはほんのわずかしが残っていません。寂しいことですが時代の流れには逆らえないということでしょう。

高等小学校を卒業した後、日赤の看護師養成学校に入りました。私には多くの兄弟姉妹がいましたが、そのなかでも二番目の兄が大好きでした。ところがその兄が結核に罹り看病もむなしく亡くなってしまったのです。この悲しい経験から、人の命を守る看護師の道を目指そうと考え



娘・孫と3人で!!

たのでした。

看護学校では看護師の資格と共に助産師の資格も取りました。病院勤めの後半は主に助産師として働きまして、そこで多くの赤ちゃんの出生のお手伝いができたことは大きな喜びでした。

昨年六月にこちらアドナイ館に入居させていただきました。職員の皆様の暖かい見守りの中で、おかげさまで穏やかに暮らすことができいております。身体が動くうちは何かお役に立ちたいと、庭の草取りや軽作業をさせていただいています。とてもありがたいことです。

どうぞこれからも宜しくお願いたします。

ケアハウス日誌

3月

- 9 5階個浴蛇口交換
- 11 ピアノ調律
- 12 聖隷クリストファー中学校探検隊
- 14・15 ベランダ手摺補強工事
- 16 MOMOの会コーラス
- 23 春の調べ お琴演奏会
- 25・26 ブンネ講習会 赤池
- 15 食堂席の抽選

4月

- 1 全体写真撮影
- 法人辞令交付式・新任研修
- 3 食堂席替え
- 7 浜松市長選挙他
- 21 イースター

職員全体会議、管理運営会議、防災委員会、医師診察、栄養相談、訪問理容美容、レコード鑑賞会、福祉なんでも相談、移動図書、メガネ相談、映画会、フラワー教室、口腔ケア(隔月一回)、筋力トレーニング、カラオケ(週二回)、ブンネメソッド、買い物ツアー、読書会(月二回)

デイサービス

『楽しい手作りレクリエーション』

リーダー 川端美香



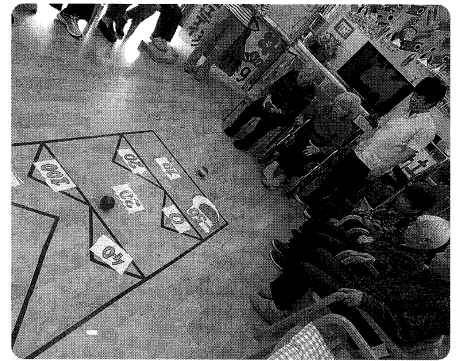
風にゆれるこいのぼり

細江デイサービスでは、季節ごとに天井飾りや壁飾りを利用者の皆様ご協力のもとに、たくさん作って飾っています。四月に入り、皆様に運動ゲームで使いたいからと、こいのぼりと柏餅の色塗りをお願いしました。「もうこいのぼり?」「でも、一カ月なんてあつという間だね。」皆様思い思いに色塗りを進めて下さいます。「これどうするの?」「釣りに・・・」「えっ! こいのぼり釣るの?じゃあ柏餅

節句レクリエーションでは四月から色塗りははじめたこいのぼりと柏餅が活躍します。こいのぼりは三〇点、柏餅は五〇点と点数がつけられ釣られて行き、ときにはグルグル巻きとられひきあげられていき・・・みなさん負けてたまるかとお真剣そのものです。日頃から行う運動ゲーム、実はゲーム内容で盛り上がりは随分と変わるんです。物送りゲームでは「早く早く!落ちた!捨って!」と声飛び交い

は?」「釣りに・・・」「食べれたいのに!」デイサービスではこんな楽しい会話をしながら利用者皆様作業に取り組んで下さいます。

五月に入ってからには、デイサービスのフロアは皆様がつって下さったこいのぼりの天井飾りや、バルーンアートヒロさんが作って下さった風船でできたかわいらしいこいのぼりが飾られました。



こいのぼりのボール転がし

ます。(物が落ちたり転がったりしたときは、職員が走りまです!) ボールを転がして点を取りに行ったり、釣りゲームになると無言になります。「あれを取る!」って勢いですね。簡単に見えても難しかったり、大きい点やマイナス点が出たり。利用者皆様うれしい表情、悔しい表情、色々見せて下さいます。時には「職員さんもやってみよう!」と振られたり。

《《♪ デイサービス日誌 ♪》》

	レクリエーション				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
3月	ひな祭りレク	個別グループ活動	フリーレク(集団)	個別グループ活動	フリーレク(誕生会)
4月	個別グループ活動	フリーレク(集団)	個別グループ活動	フリーレク(誕生会)	個別グループ活動

《《☆ デイサービスの動き ☆》》

【デイ会議】 3/21 4/25 【その他】	【出張】 3/11, 3/13 (安田)	【サービス担当者会議】 3/12, 3/13, 3/14 3/19, 3/25, 3/27 3/28, 3/29 (安田、村上、川端)	【実習】 3/11, 3/12, 3/13	ボランティア(傾聴) 池田様 ボランティア(芸能等披露) 3/11, 4/5 バルーンアートヒロ 3/6, 4/11 横山様のフラワーアレンジメント 4/24 劇団おはるちゃん
---------------------------------	----------------------------	---	--------------------------	--

新職員紹介



鈴木明子
S36年5月7日生
出身地 浜松市
部門 細江デイサービス
介護職員



田中政義
S60年6月14日生
出身地 藤枝市
部門 細江デイサービス
介護職員

この度、小規模多機能ホーム
あんきから異動となりました。
丑年、牡牛座生まれ。牛の歩み
でこつこつ頑張りたいと思いま
す。よろしくお願ひ致します。

浜松十字の園から細江デイ
サービスへの異動となりました。
明るく元気に頑張っていま
す。背が高いのが目印です。
よろしくお願ひします。

曳馬野

修院を お、う受難週レントの 静寂に

晚課の祈り 低くながれて

春海

花いかだ かすかにゆれて 鳥の鳴く

小さな滝の おしゃべり添えて

香代子

ありがたく命いただきし蜷汁

風光る大道芸人拍手浴び

空

外出も 不自由となりて アドナイの

老いし桜の 花を愛いとしむ

佐和子

耳よりな話

『断捨離』運気アップ

断捨離をして部屋の中にある
不用品を処分すると不思議なほ
ど運気が良くなる効果があるの
はなぜでしょう。

断捨離とは心の執着を手放す
教えです。

『断行』『必要な物が家に入つて
くるのを断る。
『捨行』家にある不用品を捨てる

『断行』物への執着から離れる
この三つの教えを自分に落と
し込むことにより『執着心』を
手放します。空間にゆとりがで
きることで、気持ちにもゆとり
ができる、これが断捨離で運気
が上がる理由の一つです。(豊)

『新・片付け術
『断捨離』
やましたひでこ著
より



あとがき

新緑が映える季節となりました。アドナイ刊一五五号をお届けします。五月一日より元号が『令和』に変わりました。皆様もご存じとは思いますが、「明日への希望と共に、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」という願いを込めて、「令和」という文字が選ばれました。日本の未来に込められた想いを感じて、平成よりもさらに平和で豊かな時代になればと思っています。何事も新しい気持ちで頑張りましょう。(Y)

献金感謝

3月分 4件 27,000円

平成30年度
総累計額 65件 971,000円

2019年度
4月分 2件 50,000円

『献金者』芳名

(敬称略)

3月

渋谷教会、下谷教会、
名古屋北教会、匿名一名

4月

高橋和夫、四元めぐみ

募集

アドナイ刊へのご感想をお
寄せ下さい。(編集委員会)